

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	古文Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0125	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目	対象学年	1		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 『新訂国語総合 古典編』 (第一学習社) 『完全マスター古典文法』 (第一学習者) 参考書: 『新訂総合国語便覧』				
担当教員	荻田 みどり				
到達目標					
① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。 ③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。					
ループリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	①	古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することが優れてできる。	古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。	古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができない。	
評価項目2	②	作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることが優れてできる。	作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができない。	
評価項目3	③	漢文訓読、読解におけるルールを優れて習得できた。	漢文訓読、読解におけるルールを習得できた。	漢文訓読、読解におけるルールを習得できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	古典作品の読解を通して日本文化や言葉に馴れ親しみ、ものの見方、考え方を広げる。読解に必要な基礎的知識・能力を習得するため、高校1年レベルの検定教科書掲載の作品を中心に採り上げる。適宜課題も課す。				
授業の進め方・方法	授業は講義形式で進められる。				
注意点	成績評価は、定期試験(70%)を中心に、小テスト・提出物・質疑応答等(30%)を加えた総合評価とする。定期試験は中間・期末の2回おこなう。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明、『平家物語』「木曾の最期」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	
		2週	『平家物語』「木曾の最期」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	
		3週	『平家物語』「木曾の最期」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	
		4週	『平家物語』「木曾の最期」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	
		5週	『平家物語』「木曾の最期」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	
		6週	漢文訓読基礎	③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。	
		7週	漢文「漁夫之利」	② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。 ③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。	
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	漢文「鶏鳴狗盗」	② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。 ③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。	
		10週	漢文「鶏鳴狗盗」	② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。 ③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。	
		11週	漢詩のきまり、漢詩「春暁」「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」	② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。 ③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。	
		12週	漢詩「黄鶴楼送孟浩然之广陵」「送元二使安西」「春望」	② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。 ③ 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。	
		13週	『奥の細道』「旅立ち」「平泉」「立石寺」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。	

		14週	『奥の細道』 「旅立ち」 「平泉」 「立石寺」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。
		15週	『奥の細道』 「旅立ち」 「平泉」 「立石寺」	① 古典の言葉や表現の特徴を踏まえて、人物・心情・情景について理解することができる。 ② 作品成立当時の考え方や時代背景を知り、人間・社会・自然について考えを深めることができる。
		16週	後期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	1	
			代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	1	
			文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	1	
			文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。	1	
			鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	1	
			読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの方を見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	1	
			現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	1	
			代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後9,後10,後11,後12,後13
			古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13
			代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。また、それらに親しもうとすることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後9,後10,後11,後12,後13
			教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	15	0	0	15	0	100
基礎的能力	70	15	0	0	15	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0